

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)

【公表番号】特表 2004-529087 (P2004-529087A)
 【公表日】平成 16 年 9 月 24 日 (2004.9.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-037
 【出願番号】特願 2002-559520 (P2002-559520)
 【国際特許分類第 7 版】

C 0 7 C 21/18
 C 0 7 C 17/383
 // H 0 1 L 21/308

【F I】

C 0 7 C 21/18
 C 0 7 C 17/383
 H 0 1 L 21/308 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 15 年 9 月 25 日 (2003.9.25)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

本質的に 1, 2 - ジクロロ - 3, 3, 3 - トリフルオロプロペン及びフッ化水素からなる共沸組成物。

【請求項 2】

本質的にフッ化水素約 1 ~ 約 90 重量パーセント及び 1, 2 - ジクロロ - 3, 3, 3 - トリフルオロプロペン約 10 ~ 約 99 重量パーセントからなり、約 160 kPa (23 psia) ~ 約 580 kPa (84 psia) の圧力で約 26 ~ 約 68 の沸点を有する、共沸又は共沸様組成物。

【請求項 3】

フッ化水素が約 10 ~ 約 80 重量パーセントの量で存在する、請求項 2 記載の組成物。

【請求項 4】

フッ化水素が約 40 ~ 約 60 重量パーセントの量で存在する、請求項 2 記載の組成物。

【請求項 5】

共沸又は共沸様組成物を形成する方法であって、該方法が本質的にフッ化水素約 1 ~ 約 90 重量パーセント及び 1, 2 - ジクロロ - 3, 3, 3 - トリフルオロプロペン約 10 ~ 約 99 重量パーセントをブレンドすることからなり、該組成物が約 160 kPa (23 psia) ~ 約 580 kPa (84 psia) の圧力で約 26 ~ 約 68 の沸点を有する方法。

【請求項 6】

1, 2 - ジクロロ - 3, 3, 3 - トリフルオロプロペン及び少なくとも 1 種の不純物の混合物から 1, 2 - ジクロロ - 3, 3, 3 - トリフルオロプロペンを取り出すための方法であって、フッ化水素を該 1, 2 - ジクロロ - 3, 3, 3 - トリフルオロプロペン及び該フッ化水素の共沸又は共沸様組成物を形成するのに十分な量で該混合物に添加し、その後、該共沸組成物を該不純物から分離することを含んでなる方法。

【請求項 7】

不純物が含ハロゲン炭素化合物を含んでなる、請求項 6 記載の方法。

【請求項 8】

不純物が 1, 1, 1, 3, 3 - ペンタクロロプロパンである、請求項 6 記載の方法。

【請求項 9】

分離が蒸留により行われる、請求項 6 記載の方法。

【請求項 10】

共沸組成物が本質的にフッ化水素約 10 ~ 約 80 重量パーセントからなる、請求項 6 記載の方法。

【請求項 11】

共沸組成物が本質的にフッ化水素約 40 ~ 約 60 重量パーセントからなる、請求項 6 記載の方法。